

■ 掲示板

■ 財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会
西川賞・小柴賞・諏訪賞・特別賞候補者募集要綱

1. 趣旨：高エネルギー加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、特に優れた業績をおさめた研究者・技術者に西川賞・小柴賞・諏訪賞・特別賞を授与し、もって加速器科学の発展に資することを目的とする。

2. 対象となる候補者

西川賞：高エネルギー加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、独創性に優れ、かつ論文発表され、国際的にも評価の高い業績をあげた、原則として50才以下（応募締切時）の単数または複数の研究者・技術者。

小柴賞：素粒子研究のための粒子検出装置の開発研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績を上げた、原則として50才以下（応募締切時）の単数または複数の研究者・技術者。

諏訪賞：高エネルギー加速器科学の発展上、長期にわたり顕著な寄与があったと認められる研究者・技術者。

特別賞：以上の要件には該当しないものの、高エネルギー加速器科学において、特に顕著な功績が認められる研究者・技術者、研究グループならびにプロジェクトチーム。

3. 年間表彰件数：各賞合わせて5件以内。

4. 賞の内容：表彰盾及び各賞1件当たり30万円の賞金。

5. 選考方法：推薦された候補者について財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会選考委員会が選考し、理事会において決定する。

6. 選考：平成21年11月上旬

7. 提出書類：

- (1) 推薦書
当会ホームページ掲載の様式
(<http://www.heas.jp/award/suisensyo.doc>) に従う
- (2) 選考資料
研究業績に関する発表論文（3編以内）のコピー（各2部）

8. 提出期限：平成21年10月2日

9. 書類の提出ならびに問合せ：

財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会

〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1

高エネルギー加速器研究機構内

TEL・FAX：029-879-0471

Eメール：info@heas.jp

ホームページ：<http://www.heas.jp/>

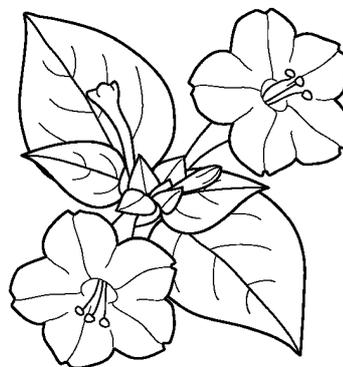
一口メモ

オシロイバナ

南アメリカペルー原産のオシロイバナ科の多年草で、古くから国内で観賞用として栽培されている。属名のミラビリスは愛すべきという意味を持つ。高さは約1m、茎の分岐点には膨れた節がある。夏から秋にかけて数花ずつ集まって咲き、花形は漏斗状で、色は黄、紅、白などがある。英名は“Four-o'clock flower”で、日中は昼寝をし、午後4時頃から咲き出し、翌朝9時頃まで咲いている。また、果実は球状で、なかに白粉状の胚乳がある。子供のころ、タネをつぶして中の粉を出し、オシロイとして遊んだ方もいることでしょう。

私は先月末、ベトナムのハノイ市に出かけ、2つの大学を訪問してきました。市内は相変わらず、ものすごい数の自動車とバイクで交通が大渋滞していますが、郊外では高速道路の建設が急ピッチで進んでいます。また、ハノイとホーチミン（旧サイゴン）を結ぶ高速鉄道の計画があるそうで、1960年代の東京オリンピック前後の状況に近いと思います。さて、大学の構内に入ると講義棟へ足早で移動する学生達には活気が感じられました。さらに、教授陣も研究と教育への取り組み方が非常に熱心で、特に、日本の大学で学位を取得した教授からは大学間交流をぜひ持ちたいと話しかけられました。

(No. 88, K. Ohshima)



■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2009年 8/3	SPring-8 金属材料評価研究会 (第1回)	キャンパスイノベーションセンター東京地区 1F 国際会議室	SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会 E-mail: ayumi_nagai@spring8.or.jp	22・3
8/10-11	日本放射光学会第1回若手研究会 「X線ナノ集光技術研究会」	大阪大学吹田キャンパス	日本放射光学会 E-mail: Xray-focus@gcoe.prec.eng.osaka-u.ac.jp	22・4
8/18-21	第49回真空夏季大学	伊豆 網代温泉 松風苑	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	22・3
8/22-23	2009年度日本物理学会科学セミナー「環境 ・エネルギー問題へ発信する基礎科学」	東京大学 駒場キャンパス 18号館ホール	(社)日本物理学会 E-mail: seminar@jps.or.jp	22・4
9/7	第1回日本放射光学会 放射光基礎講習会 「先端研究開発ツールとしての放射光利用術」	東京大学 本郷キャンパス 工学部6号館63講義室	日本放射光学会 E-mail: jssrinfo@jssrr.jp	22・4
9/14-16	第12回 XAFS 討論会	国民宿舎 おおわに山荘	日本 XAFS 研究会 E-mail: jxafs12@st.hirosaki-u.ac.jp	22・3
9/16-18	日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション「無機物質のマルチスケール構造解析」	愛媛大学 城北地区	日本セラミックス協会 E-mail: yoshiasa@sci.kumamoto-u.ac.jp	22・2
11/4-6	第50回真空に関する連合講演会	学習院創立百周年記念 会館	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	22・3
11/5-6	第45回 X線分析討論会	大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター	(社)日本分析化学会 X線分析研究懇談会 E-mail: tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp	22・4
11/6-7	第10回 X線結像光学シンポジウム	つくば市国際会議場 (エポカル)	X線結像光学研究会 E-mail: aoki@bk.tsukuba.ac.jp	22・4
11/12-14	第39回結晶成長国内会議 (NCCG-39)	名古屋大学 (東山キャンパス) シンポジオン・豊田講堂アトリウム	日本結晶成長学会 E-mail: jacg@words-smile.com	22・4
11/25-26	第48回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」	神戸大学 瀧川記念学術交流会館	(社)日本表面科学会 E-mail: shomu@sssj.org	22・2

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■2009年度日本物理学会科学セミナー

環境・エネルギー問題へ発信する基礎科学

昨年のセミナー「越境する科学」では既存のディシプリンを越えた学融合的なアプローチをテーマとして取り上げました。今年は、越境する科学的なアプローチがもっとも必要とされている環境・エネルギー問題にスポットを当てたセミナーを企画しました。問題の解決には、新しい原理に基づいた革新的なアプローチが必要とされており、その根幹のアイディアの部分で物理学の果たす役割は極めて大きいと思われます。物理だけでなく、化学、生物、工学といった多様な分野から環境・エネルギー問題へ越境している研究者に展望と基礎科学に対する期待を語っていただきます。

主催：(株)日本物理学会

協賛：日本放射光学会、他

期間：2009年8月22日(土)～23日(日)

会場：東京大学 駒場キャンパス18号館ホール

(京王井の頭線「駒場東大前駅」徒歩5分)

ホームページ：

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jps/jps/bbs/scisemi2009.html>

参加費と資料：

無料。事前に参加申し込みをされた方には、参加番号をご連絡します。講演資料を会場受付でお渡し致しますので、参加番号とお名前をお申し出下さい。(参加申し込みをされなかった方には、お渡しできない場合があります。ご了承下さい。)

定員：200名。先着順とし、定員に達し次第、締め切ります。

対象：

大学生、教員の方、一般の方々。(左記以外の方でもご興味があればお申込みを受けております。)

申込方法：

(1) 電子メールの場合

氏名(フリガナ)、年齢、ご所属先(学校名・学年)、連絡先電話番号、本セミナーを何で知ったかを明記のうえ、

宛先：seminar@jps.or.jp

件名：2009年科学セミナー参加申し込み

としてお送り下さい。

(2) 郵送・FAXの場合

所定の申込書(会誌6・7月号、WEB掲載)に必要な事項をご記入の上、下記宛お申込み下さい。

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3 栄進開発ビル5F

社団法人 日本物理学会 科学セミナー係

FAX：03-3432-0997

問合せ先：E-mail：seminar@jps.or.jp TEL：03-3434-2671

■第45回 X線分析討論会

主催：(株)日本分析化学会 X線分析研究懇談会

協賛：日本放射光学会、他

会期：2009年11月5日(木)～6日(金)

会場：大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター

[大阪市住吉区杉本3-3-138、交通：JR阪和線杉本町駅より徒歩5分、もしくは大阪市営地下鉄御堂筋線あびこ駅より徒歩

20分またはタクシーにて5分]

(交通の詳細は<http://www.osaka-cu.ac.jp/info/commons/access.html>を参照)

討論主題(申込書に主題番号を明記)：

- (1) X線吸収分光および軟X線分析
- (2) X線元素イメージングおよび関連技術
- (3) 表面X線分析(EPMA, XPS, TXRFなど)
- (4) X線・放射線分析による材料不良解析
- (5) その他、X線を利用した分析一般(鑑識X線分析、環境X線分析なども含む)

講演申込要項：

1. 講演内容は未発表のものに限ります。
2. 依頼講演に加え、口頭発表とポスター発表を受け付けます。口頭発表では討論主題ごとのセッションをつくる予定ですので、申し込みにあたっては主題番号を明記して下さい。ただし、ポスター発表に変更していただく場合もありますので、ご了承ください。
3. 依頼講演は1講演40分(討論5分を含む)、口頭発表は1講演20分(討論5分を含む)の予定です。液晶プロジェクタ(Windowsパソコンを用意します)での発表を基本とします。
4. 申込講演の採否及びプログラム編成は実行委員会に一任願います。
5. 講演者は後日参加登録してください。依頼講演者も参加登録料をお支払いいただきます(参加登録料：一般予約4,500円、一般当日6,000円、学生2,000円、ミキサー1,000円)。

ミキサー：11月5日(木) 大阪市立大学 学術情報総合センター

講演申込締切日：7月22日(水)【必着】

講演要旨締切日：9月30日(水)【必着】

予約登録締切日：10月28日(水)【必着】

講演申込方法：

申込用紙(右クリック、ファイルに保存)に発表題目等の必要事項を記入し、Eメールにて送信して下さい(やむを得ない場合は申込用紙のFAXも可)。講演要旨は、当日受付で配付いたします(ただし座長には事前に郵送します)。

講演申込先・要旨原稿送付先：

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

社団法人日本分析化学会 X線分析研究懇談会

[電話：03-3490-3351, FAX：03-3490-3572,

E-mail：hm_tanaka@jsac.or.jp およびCC.にてtsujilabo@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jpへも同時にお送りください]

問合せ先：

辻 幸一(電話・FAX：06-6605-3080,

E-mail：tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp)

■第10回 X線結像光学シンポジウム

X線結像光学は理学と工学あるいは科学と技術の接点に位置し、宇宙科学、生命科学、物質・材料科学、放射光科学、プラズマ・エネルギー工学、医療工学、ナノ工学等の分野における研究に大きな役割を果たしています。本シンポジウムでは、エネルギー領域40 eV-100 keV(波長30-0.01 nm)における光学・計測

技術とその応用, および X 線結像光学を支える基盤技術に関する最新の研究成果の発表と将来の展望を議論したいと思います。

主 催: X 線結像光学研究会 (代表: 筑波大学 青木貞雄)

日 時: 2009年11月6日(金)

午後および夕刻: 講演等および懇親会

11月7日(土) 午前および午後: 講演等

場 所: つくば市国際会議場 (エポカル)

講演申し込み: 詳細は7月頃お知らせします。

連絡先: 筑波大学大学院 数理工学専攻 青木貞雄

電子・物理工学専攻 青木貞雄

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

Tel: 029-853-5299, FAX: 029-853-5205

E-mail: aoki@bk.tsukuba.ac.jp

■第39回結晶成長国内会議 (NCCG-39)

主 催: 日本結晶成長学会

協 賛: 日本放射光学会, 他

日 時: 2009年11月12日(木)~14日(土)

場 所: 名古屋大学 (東山キャンパス)

シンポジオン・豊田講堂アトリウム

参加費: 正会員, 一般 3,000円 学生無料

※事前登録は行っておりません。当日, 会場にて受付を行います。

予稿集: 4,000円

当日入会の方は会員扱いとし, 予稿集は無料配布となります。

懇親会参加費: 未定

講演申し込み方法:

メール受付となります。(受付開始7月上旬を予定)

講演申し込み締切日: 2009年8月28日(金)

予稿原稿締切日: 2009年9月11日(金)

シンポジウム企画者へ:

シンポジウムを企画される方は, シンポジウムの表題, プログラム(講演者/題目/時間配分)および開催希望日時, 連絡者氏名, 連絡先(所属, TEL, FAX, E-mail)を書いて事務局に E-mail でお申し込み下さい。

提出されたプログラムに従って NCCG-39 の枠を確保します(開催日時ご希望に添えないこともあります)。

シンポジウム企画申し込み締切日: 2009年8月28日(金)

その他: 企業展示も行う予定です。

備 考:

詳細情報は, ホームページにて順次お知らせしていきます。

講演申し込み, 連絡先:

日本結晶成長学会事務局

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-62-8-507

TEL: 03-5950-1290 FAX: 03-5950-1292

E-mail: jacg@words-smile.com

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 櫻井 吉晴

渉外幹事 繁政 英治

オンライン会誌にアクセスするには, 放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし, 会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr224

Password: d2ctAkrf

です。このユーザー ID とパスワードは, 次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある, 学会誌「放射光」のオンライン閲覧 をクリックして頂ければ, オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また, 記事の著作権は日本放射光学会にありますので, 転載等のご希望に関しては, 必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で, 会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら, 繁政 (sigemasa@ims.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は, 櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。